

平成 24 年度 採用分  
特別研究員(グローバル COE)  
申請書  
〔兼 申請カード〕

①申請資格	DC 2	DC 1	受付番号
②審査領域			
③分 科			
④細 目	⑥専門分野		
⑤分科・細目 コード			

申請機関名： \_\_\_\_\_ 大学 (コード： \_\_\_\_\_ )

1. 申請資格等

⑦氏 名 (フリガナ)	(フリガナ) 登録名		⑧性別
	(ローマ字) (フリガナ) 戸籍名		
⑨国 籍			
⑩生年月日	年 月 日 生 (特別研究員採用(予定)日における満年齢： 歳)		

⑪学 歴 (学部・修士)	(1) 平成 年 月 大学 学部 学科 卒
	(2) 平成 年 月 大学 大学院修士課程 入学 ( 研究科 専攻)
	(3) 平成 年 月 大学 大学院修士課程 修了 ( 研究科 専攻)
⑫博 士 の 状 況	(1) 入学年月：平成 年 月 入・進学
	(2) 大学院名： (コード： )
	(3) 研究科名： (コード： )
	(4) 研究科種別： 1. 研究科 2. 教育部 3. 学 府 4. 学 院 5. 学 舎 6. 学 術 院 7. その他 ( )
	(5) 専攻名：
	(6) 課程種別： 1. 3 年制 2. 5 年一貫制 3. 医・歯・獣医学系 4 年制
	(7) 休学期間合計： 年 月 * 博士在学中の休学証明書を添付 [休学期間の内訳：平成 年 月 日～平成 年 月 日]
	(8) 特別研究員採用(予定)年度の 4 月 1 日における博士在学期間累計(休学期間を除く)： 年 ヶ月
	(9) 特別研究員採用(予定)年度の 4 月 1 日における在学年次： 年
	(10) 博士課程に係る学歴の特記事項： 有 ・ 無 (博士課程において転入学・再入学・改組による学籍異動・短縮修了・長期履修学生・その他の特記事項がある場合は必ずこの欄を「有」とした上で、下記追記事項入力欄に具体的かつ正確に記入してください。)
	(11) 博士課程の追記事項：
⑬研究・職歴 等	(1) 平成 年 月 ～ 平成 年 月
	(2)

⑭日本学生支援機構等 奨学金貸与の有無	1. 有 2. 無 3. 申請中	⑮外国人留学生に対する 奨学金等受給の有無	1. 有 2. 無 3. 申請中
------------------------	------------------	--------------------------	------------------

⑯採用を希望する期間	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日
⑰研究課題 (和文：40字以内。化学式、 数式は使用不可。)	

⑱現在の 研究指導者	(フリガナ) 氏名	職名	職名 コード						
	科学研究費補助金研究者番号								
	所属機関	コード							
	部局	コード							
	部局種別	1. 学部            2. 学系            3. 部            4. 研究科 5. 附置研等    6. その他 (            )							
⑲採用後の 受入研究者 (学籍上の指導 教員)	(フリガナ) 氏名	職名	職名 コード						
	科学研究費補助金研究者番号								
	所属機関	コード							
	部局	コード							
	部局種別	1. 学部            2. 学系            3. 部            4. 研究科 5. 附置研等    6. その他 (            )							

◎連絡先

⑳現住所	〒
	電話番号：(        )    —
	携帯電話番号：
	FAX番号：(        )    —
	e-mail：
㉑所属機関 (所在地・機関 名・部局等名)	〒
	所属機関名：
	部局等名：
	電話番号：(        )    —                    (内線)
	FAX番号：(        )    —
	e-mail：

2. 現在までの研究状況 (図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。様式の改変・追加は不可(以下同様))
- ① これまでの研究の背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げて記述してください。
  - ② 申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について、問題点を含め①で記載したことと関連づけて説明してください。  
なお、これまでの研究結果を論文あるいは学会等で発表している場合には、申請者が担当した部分を明らかにして、それらの内容を記述してください。

申請者氏名 \_\_\_\_\_

(現在までの研究状況の続き)

### 3. これからの研究計画

#### (1) 研究の背景

2. で述べた研究状況を踏まえ、これからの研究計画の背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯等について参考文献を挙げて記入してください。

申請者氏名 \_\_\_\_\_

(2) 研究目的・内容 (図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。)

- ① 研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。
- ③ 共同研究の場合には、申請者が担当する部分を明らかにしてください。
- ④ 研究計画の期間中に異なった研究機関 (外国の研究機関等を含む。) において研究に従事することを予定している場合はその旨を記載してください。

申請者氏名

### (3) 研究の特色・独創的な点

次の項目について記載してください。

- ① これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、独創的な点
- ② 国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義
- ③ 本研究が完成したとき予想されるインパクト及び将来の見通し

### (4) 年次計画

(1年目)

(2年目)

(3年目) (DC2申請者は記入しないでください。)

#### (5) 人権の保護及び法令等の遵守への対応

本欄には、研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策や措置を講じるのか記述してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

4. 研究業績（下記の項目について申請者が**中心的な役割を果たしたもののみ**項目に区分して記載してください。その際、通し番号を付すこととし、該当がない項目は「なし」と記載してください。申請者にアンダーラインを付してください。）

(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書（査読の有無を区分して記載してください。査読のある場合、印刷済及び採録決定済のものに限ります。査読中・投稿中のものは除く）

① 著者（申請者を含む全員の氏名を、論文と同一の順番で記載してください。）、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp 開始頁－最終頁、発行年をこの順で記入し、著者の所属・職については脚注に記載してください。

② 採録決定済のものについては、それを証明できるものをP.9の後に添付してください。

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

(3) 国際会議における発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載してください。）

著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載してください。）、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。発表者に○印を付してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載しても構いません。その場合は、それを証明できるものをP.9の後に添付してください。）

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表

(3)と同様に記載してください。

(5) 特許等（申請中、公開中、取得を明記してください。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述で構いません。）

(6) その他（受賞歴等）

申請者氏名



## 5. 自己評価

日本学術振興会特別研究員制度は、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的としています。この目的に鑑み、申請者本人による自己評価を次の項目毎に記入してください。

- ① 研究職を志望する動機、目指す研究者像、自己の長所等
- ② 自己評価する上で、特に重要と思われる事項（特に優れた学業成績，受賞歴，飛び級入学，留学経験，特色ある学外活動など）

申請者氏名 \_\_\_\_\_



平成24年度採用分日本学術振興会特別研究員申請者に関する評価書 (グローバルCOE)

次頁に記載した特別研究員の制度及び評価書作成上の注意点をよく読んで記入してください。

① 評価者の所属機関： \_\_\_\_\_ 大 学 \_\_\_\_\_ 学部・研究科・研究所  
 \_\_\_\_\_ 研究所  
 職： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_ (印)

② 特別研究員申請者  
氏名：

③ 研究課題 (申請書の「研究課題」を記入)

④ 申請者の研究能力について  
 次のような観点から申請者の資質を評価し、□内にチェック又は■としてください。わからない場合は右端の「わからない」の欄を選択してください。

	特に優れている	優れている	普通	劣っている	わからない
・研究姿勢・忍耐力	□	□	□	□	□
・専門的知識・技量	□	□	□	□	□
・着想力・創造力	□	□	□	□	□
・コミュニケーション能力	□	□	□	□	□
・将来性	□	□	□	□	□

申請者の研究能力を総合的に評価してください (該当する項目を○で囲んでください)。  
 これまでに指導した大学院博士課程学生 (約 \_\_\_\_\_ 名) の中で  
 ア) 上位10%程度    イ) 25%程度    ウ) 50%程度    エ) 50%以下

-----  
 上記の諸点に着目し、申請者の研究課題遂行能力及び我が国の学術研究の将来を担う人材となりうるかなどの資質について評価してください。

(次頁に続く)

⑤ 申請者の研究者としての将来性を判断する上で特に参考になるとと思われる事項があれば記入してください。(例：特に優れた学業成績、受賞歴、飛び級入学、留学経験、特色ある学外活動など。)

**【評価書作成上の注意点】**

- \*本評価書作成の際は、日本語又は英語で記入してください。なお、手書きする場合は、黒インク又は黒ボールペンで丁寧に記入してください。
- \*評価書作成者は、申請書記載の「現在の研究指導者」です。現在、研究指導の委託により他大学等において研究指導を受けている場合は、「現在の研究指導者」が委託先の受入研究者と連絡をとって作成してください。
- \*本評価書は、審査の重要な資料となるので、当該申請者についてできるだけ具体的かつ明確に記入してください。(DC 1の場合、研究業績は未完成のものが多くと思われるため、特に詳細に書いてください。)
- \*本評価書は両面印刷としてください。本書以外に新たに用紙を加えることはできません。
- \*写しは2部 (A4版、両面コピー) とり、本書及び写しを併せて封筒 (角2) に入れ厳封の上、申請者が作成する申請書に添付してください。(封筒の表に申請者名と評価者名を記載してください。)

**特別研究員制度について**

日本学術振興会特別研究員制度は、優れた若手研究者に、その研学生活の初期において、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与えることにより、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的として、大学院博士課程在学者及び大学院博士課程修了者等で、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を採用し、研究奨励金を支給するものです。

参考：過去の採用状況

年度	SPD・PD			DC			計		
	申請数	採用数	採用率	申請数	採用数	採用率	申請数	採用数	採用率
23	2,986	554	18.6%	7,596	1,739	22.9%	10,582	2,293	21.7%
22	3,221	413	12.8%	7,033	2,116	30.1%	10,254	2,529	24.7%
21	3,503	336	9.6%	6,890	2,006	29.1%	10,393	2,342	22.5%
20	4,136	365	8.8%	6,886	1,947	28.3%	11,022	2,312	21.0%
19	4,440	471	10.6%	7,477	1,630	21.8%	11,917	2,101	17.6%

※詳細は、国会「特別研究員」ホームページ (<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>) → 「審査」 → 「採用状況」 をご覧ください。